

投資者の皆様へ

2018年12月25日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2018年12月25日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受け弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が大きく下落いたしました。つきましては、株式市場の下落要因と今後の見通しについての当社の見方と共に、助言ファンドに関するエンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等についてお知らせいたします。

1. 基準価額及び下落率(12月25日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	13,130	▲947	▲6.7
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	16,542	▲1,180	▲6.7
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(愛称:jnext)	26,467	▲1,611	▲5.7
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型) /愛称:jnext II	13,301	▲811	▲5.7
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)	31,029	▲2,226	▲6.7
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型) /愛称:jrevive II	10,756	▲774	▲6.7
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ<DC年金> /愛称:jrevive<DC年金>	11,542	▲831	▲6.7

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する要因及び今後の見通しは以下の通りです。

本日の国内株式市場は、前日の軟調な米株式市場の推移を受けて大きく下落し、日経平均株価は、前日比1,010円45銭安(同5.01%安)の19,155円74銭で取引を終了しました。

米国では、暫定予算が不成立となり一部の政府機関が22日の0時より閉鎖され、当該閉鎖が年明けまで続く可能性との報道により投資家心理が悪化しました。加えてムニューシン米財務長官の発言や同氏を巡る報道等により、米政治リスクの台頭によるリスク回避姿勢が強まり、株価は一段安となりました。

また外国為替市場において、米株式市場の急落や政治リスクの先行き不透明感等を背景にリスク回避の円買いが進み、前週末比で1円10銭程度円高となる1ドル＝110円10銭台の水準まで円高が進行しました。25日の国内株式市場では、米国政治の不透明感や円高推移による企業収益悪化懸念等が意識されました。寄り付き後から売りが優勢の展開となり、次第に下げ幅を拡大し当日の安値圏で取引を終了しました。

国内株式市場の大幅下落に伴い、弊社の運用する日本株関連ファンドの組入れ銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額は下落しました。

今後の株式市場については、世界景気の成長率鈍化が意識される中、米政権の政治先行き不透明感等が株価の上値を抑える要因となると考えられます。主に外部環境の影響により、神経質な展開が続くと予想されます。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

3.エンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等

下記コメントは、本レポートに掲載のファンドについて助言を行っているエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントです。

本日を含め、足元の日本株式市場の下落要因は米国金融市場の混乱とその中で安全資産としての円の信認が高まり円高が進んだ点に尽きると考えられます。そのため、投資家心理を表す日経VI指数(ボラティリティ・インデックス)は32と平常時(14~24)を遥かに上回る水準にごく短期間で急伸しており、欧米がクリスマス休暇となり市場参加者が少ない中、一種のパニック状態に陥っていることを示しています。

先般も週次レポート等を通じてお伝えしましたように、日本企業は全体としては最高益を更新して雇用も拡大を続けているなど足元の経済ファンダメンタルズは依然堅調であり、今後を見ましても日本経済が急速に悪化するとは考えにくい状況にあります。実際、本日も4社の経営者の方々とお会いしましたが、今後の事業環境については総じて堅調な見通しを持っていらっしゃいます。

2000年以降を振り返りましても、株式市場では何度となく急激な調整局面を経験してきました。しかしながら、その多くは一時的なパニック状態によるものでした。今回も、回復に時間がかかった2006年のライブドアショック、2008年のリーマンショックとこれに続く世界同時大不況とは、株式市場を取り巻く環境は全く異なっていると考えられます。

ファンドの組入企業の業績についてもこまめに確認していますが、総じて大きくトレンドが変わる兆候はなく、むしろこれまで投資を開始するには割高であった候補企業の株価も調整して入れ替えていく好機にもなっています。暫くは不安定な状況が続くことが想定されますが、こうした環境こそ冷静に革新的な成長企業を見極めていくことが、今後のパフォーマンスにつながるものと考えて積極的に調査・助言活動を徹底してまいります。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

- その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】